

2024

1月

24^{水日}
開催

半田商業高校

交流会

半田市議会



HandaCity

はんだ市議会

2024年5月1日発行

HEADLINE

- 市長施政方針に対する代表質問
- 一般質問、6人が市政を問う!
- 新年度予算案の審査報告
- 健康寿命延伸調査特別委員会 活動報告
- 半田商業高等学校との交流会報告
- 議員勉強会報告

だより



半田市議会広報へ

市政を問う



代表質問 一般質問

3月定例会における「市長施政方針」に対し、2月29日に3会派が代表質問を行い、市政に関する一般質問は、3月1日、2日に6人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。
(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です。)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田市立図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。
また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



市長施政方針演説
(YouTube)



問

令和6年度は半田市全会計の予算総額としては過去最大規模となりました。新年度に臨む市長の決意を伺います。

これまでに聞いた種を育てる施策や事業を具体的な形にしており、一言で名づけるならば「変革を具現化する予算」です。

問

令和6年度予算を名づけるならば何予算としますか。

令和6年度予算編成

伊藤正興
チャンネルはんだ



市政を問う

代表質問（質問議員が執筆しています）

半田に住んで良かった、住み続けたいと実感していただけに市民の幸せを実現することが目的です。そのために職員の先頭に立ち全身全霊で市政運営に取り組んでいく覚悟です。

防災への取組み

問

速やかに災害対応を開始できるような体制の強化充実に努めるとのことですが、どのように取組んでいきますか。

被災初期の混乱期に職員だけでなく自治区や自主防災会にも協力をいただきながら、必要な情報を効率的に集約するための訓練を実施していきます。

小学校内の子どもの居場所づくり

問

小学校内に子ども居場所をつくる取組みは全ての小学校へ同じ内容で進めますか。

本事業は全ての児童が平等に利用できるよう小学校内に放課後の安心・安全な居場所を作ることが目的であり全小学校で進めていきます。

山田清一
(公明党)



令和6年能登半島地震を踏まえ「命を守る」「防災体制の強化」「充実をどのように進めていきますか。」

問

令和6年度予算は、どのような思いを込めて編成しましたか。

自治区や自主防災会を巻き込んだ被災情報の集約について重点的に訓練し、防災減災意識を高め、啓発します。

問

今後の財政運営について伺います。

中長期的な財政状況を考慮し、事業の取捨選択



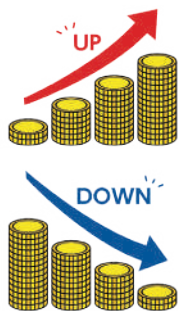
【知多半島総合医療センター】完成イメージ

「職員満足度の向上なくしては、患者満足度の向上はなし」の考えのもと働きやすい職場環境にします。また、「知多半島総合医療センター」と「知多半島りんくう病院」が連携し、公的病院の使命とも言つべき医療やがん・脳卒中など重要疾病への対応など、患者に選ばれる病院を目指します。

問

令和7年4月開院の新病院について、「働く人から選ばれる病院」「患者から選ばれる病院」となるための展望を伺います。

や実施時期の見直しを行い、適切な地方債の発行、財政調整基金や公施設整備基金などの基金繰入を含めた財源確保も視野に入れて、持続可能な市政運営を行います。



公共施設の整備や扶助費、人件費の増加に加え、物価高騰の影響を受け、今後多くの歳出の増加要因が見込まれます。このような状況下において、中長期的な財政状況を考慮したうえで、選択と集中を強く意識し、事業をやめることにも勇気をもって取組みます。収入を正確にはかり、それに見合う支出を行うといった財政の基本原則を遵守することが重要だと考えています。

問
歳出が過去最大規模となるがどのように考えているか教えてください。

令和6年度の予算概要

中村和也
(市民ネット)



市民と共に挑む新たなチャレンジ

問
「はたらく親を応援するまちへのチャレンジ」についての考え方を教えてください。

「はたらく親を応援するまちへのチャレンジ」は、市民の皆様と共に挑む新たなチャレンジ項目で、子育て支援策です。半田市を魅力あふれる都市とするために、教育先端都市へのチャレンジとともに必要な施策であり、相互に関連する重要な取組みと考えています。

主な大型プロジェクト

問
新総合体育館の基本構想策定の進め方を教えてください。

基本構想を策定するうえで、アンケートやワークショップなど、市民の皆様からご意見を伺いながら、スポーツ以外にも使える施設への複合化や集約化の必要性などについても検討していきます。

倒壊の危険性が高い特定空家は現在まで14軒を認定し、指導・勧告を行い6軒が解消しました。経済的な理由や所有者が特定できない等の理由により、8軒が対応困難な

問
空家の現状と今後の対応について考えを教えてください。

避難経路の管理は市民一人ひとりがあらかじめ確認するように啓発しており、市としては、管理はしていません。危険の連絡があった場合は関係各課と連携して対応していきます。

問
災害時の避難経路が安全に確保されているかの管理状況と、危険が発覚した場合の対応について教えてください。

大規模災害に備えた安心・安全に暮らせるまちづくり

田中高久
(創造みらい半田)



状況にあります。今後も特定空家の解消に努めていきます。

問
危険性の高いブロック塀等の補助金制度の見直しや今後の対応について教えてください。

ブロック塀等撤去費補助金の令和4年度の申請件数は23件ありました。塀が高くなるほど自己負担額が増えること等の声があることから、実態調査から行っていく予定です。危険性のある塀については勧告・命令など権限の規定があるため、空家法のような仕組みは考えていませんが、所有者へ粘り強く説明を行い危険なもの撤去が進むように努めていきます。



避難所へは3日から10日以内、各家庭へは被害状況にもよりますが、仮設水道も含め1か月以内には通水させます。

問
避難所や各家庭への通水は何日後と考えていますか。

配水管破損による漏水など2次被害を防ぐため、震度5強以上で自動的に配水を停止します。ただし49か所の避難所、応急救護所、透析医療機関は安全確認後直ちに給水を開始します。各家庭への給水は、点検後被害状況の少ない地域から順次通水していきます。

問
大規模地震発生後に水道が断水した場合、市内全域への給水はどう行いますか。

生命を守る「水」の対策

鈴木幸彦
(創造みらい半田)



問
地震に強いと言われる耐震管の整備を進めています。半田市の現状はどのようになっていますか。

県下でも早く取組んでおり、全国平均41.2%に対し半田市は86.9%で県内でも上位の整備率です。

問
近年の異常気象に対応する雨水整備計画はどのようですか。

5年に一度の最大降水量から10年に一度の最大降水量に想定を変更しています。また、国からの指示に沿って降雨強度1割増の設定で浸水状況のシミュレーションを行いました。既存のハザードマップに加え、より現状に沿った「浸水想定区域図」を令和7年度までに作成し、公表する準備をしています。





有留麻由
(無所属)



半田市の保育園の体制

問 第2子以降の3歳未満児保育料無償化に向けて、待機児童への対策はありますか。

民営化したにじいろ保育園や、4月から開園する小規模保育所等に対応します。

問 兄弟姉妹が別園に通っている世帯への対策はありますか。

兄弟姉妹が同園に通いやすくするため、指数の見直しを行いました。既に入園枠が少ない1・2歳に集中したり、0歳児の受入れがない等の問題があります。

問 空き部屋を使うなどして、0歳児の受入れは可能ですか。

乳児部屋設置には施設に一定の改修が必要となるため、できません。



問 保育士不足への対策はどのようですか。仕事への負担軽減、待遇改善はされますか。

正規職員の採用を進めていますが、現時点では待機児童防止を優先し、負担軽減のために余分に保育士を配置する段階にありません。

地域介護予防支援事業（げんきスポット）

問 げんきスポットを始めたい目的は何ですか。

平成29年から高齢者が地域で生きがい・役割をもって生活できることを目的として始めました。

問 この事業への補助金制度継続はされますか。

高齢化が進む中で、将来の半田市を見据え、制度の縮小の判断をしました。



坂井美穂
(公明党)



デジタル性暴力から子どもを守る取組み

問 児童生徒が自撮りしたわいせつな画像を他人に送ることで被害を受ける、デジタル性暴力の被害について、どのように捉えていますか。

一度画像がインターネット上に流出すると、不特定多数の人に反復複製され、削除することが非常に困難で、深刻な事態に発展する恐れがあります。児童生徒の心身に有害な影響を及ぼすものと認識しています。

問 児童生徒の性的な自撮りをAIが自動検知し、児童生徒に削除を推奨すると同時に保護者のスマホにも通知する、自撮り被害防止アプリを児童生徒と保護者に周知してはどうですか。



ご紹介の無料アプリは、愛知県警や藤田医科大学などの連携・協力により開発されたもので、児童生徒の自撮り被害防止に非常に有効なツールになると認識しています。これから、小中学校を通じて、児童生徒及びその保護者へ周知し、利用を呼び掛けていきます。

問 小中学校の学習用端末での盗撮や拡散等の事例が起きています。不適切な画像や動画の撮影を検知し、児童生徒に削除を推奨すると同時に教員の端末にも通知するアプリの実証実験を検討してはどうですか。

愛知県警などから協力依頼があれば、可能な限り協力していきます。



竹内功治
(創造みらい半田)



児童生徒の学力がさらに向上するための取組み

問 学力とは生きる力の知力の面であり、その向上は必要です。半田市が進めるキャリア教育で児童生徒の学習姿勢や学力は向上していますか。

学力を数値化して経年比較などは行っていないませんが、児童生徒が課題解決に向けて主体的に行動する機会が増えています。

問 学力の向上のためにICTの活用は重要です。今後どのように進めていきますか。

タブレット端末での学習教材としてAI搭載型の学習ドリルを導入します。このドリルは児童生徒の回答を分析して個々に合った設問を自動的に

出題するため、さらなる学力の向上が期待できます。またタブレット端末を自宅に持ち帰りA・Dドリルを活用することで、家庭学習の充実を図ります。

問 これからの社会では英語の習得は必然です。英語学習の充実をどう図りますか。

今までネイティブスピーカーの英語指導助手のALTを各学校に派遣して発語指導等を行っていました。先進自治体の取組みも参考に、今後はICTも活用して、ALTと対話機会を増やすことや海外も含めた交流機会を設けることなど多彩な取組みの実施を図ります。

問 半田市が目指す教育とは何ですか。

学力向上だけでなく、自分と周りの人の「幸せ」を考えることができる児童生徒の育成を目指します。



半田市では災害用組立

問

災害用トイレトレーの導入を提案しますが見解を伺います。

消防署と消防団で連携した防災訓練の実施、住民に向けての初期消火、住宅の耐震化、地震対策グッズの啓発を今後も継続して取り組んでいきます。

問

この度の能登半島地震での延焼火災を教訓にした今後の取り組みを伺います。

有脇町はじめ市内18箇所を延焼火災の恐れのある地域に定めています。

問

住宅密集地域を中心にした延焼火災の恐れのある地域はどちらですか。

大地震の備え

麻生七海
(公明党)



トイレの備蓄や被災時に仮設トイレ事業者からの借用協定もあるため、移動式トイレトレーの導入は考えていません。

半田市の婚活支援の現状と今後の取り組み

問

これまでに結婚支援をどのように取り組みましたか。

少子化対策とは認識しますが高い効果が見込まれないことから、取組みは行っていないです。

問

半田市に結婚支援を所管する部署の設置を求めますが見解を伺います。

愛知県が令和6年度から設置します結婚支援センターの動向を注視し、市としての役割を見極めたいと考えています。



議会用語解説



市議会
用語解説へ

本会議

議案などを審議し、議会の最終的な意思決定を行う会議。定例会と臨時会があります。

定例会

定期的に開かれる本会議のことです。半田市では年4回(3月、6月、9月、12月)行われています。

臨時会

定例会とは別に、必要に応じて臨時で開かれる本会議のことです。特定の案件を審議するために開かれます。

代表質問

「市長施政方針」に対して会派を代表して行う質問です。3月定例会で行います。

一般質問

議員が市政全般にわたり、事務の執行状況や市政の方針などについて問い、報告や説明を求めることです。定例会ごとに行うことができます。

審議結果 令和6年第1回臨時会(1月29日)

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
1	令和5年度半田市一般会計補正予算第8号 (住民税が均等割のみの課税世帯等に1世帯当たり10万円の臨時給付金を支給し、併せて令和5年度の住民非課税世帯及び均等割のみの課税世帯の給付加算金として、当該世帯で扶養されている18歳以下の児童、1人当たり5万円を支給するもの)

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告1	専決処分の報告について (公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告2	専決処分の報告について (公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)

審 議 結 果 令和6年第2回定例会(2月20日～3月25日)

■全会一致の案件

議案 番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
3	令和5年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第3号 (国の補正予算に伴い、物件移転補償費の増額など、令和6年度実施予定であった事業を前倒し実施するものなど)
4	令和5年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第2号 (国の補正予算に伴い、令和6年度実施予定の区画整理工事を前倒し実施するもの)
5	令和5年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第3号 (インフルエンザの流行による医療費の増加、高額療養費に該当するケースが増加したことによるもの)
6	令和5年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第4号 (前年度の繰越額の確定により、基金の取り崩し不用額を減額するもの)
7	令和5年度半田市立半田病院事業会計補正予算第2号 (収入では医業収入の増、支出では医業費用および医業外費用の増があり、それぞれ補正予算で対応するもの)
9	令和6年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計予算 (都市計画道路環状線の供用開始に向け、環状線の整備、跨線橋の舗装、側道の整備、污水管布設、宅地造成などを 実施するもの)
10	令和6年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計予算 (物件補償調査や街区・画地確定測量、変更事業計画の作成、JR半田駅前の公園や道路等の詳細設計などを実施するもの)
11	令和6年度半田市駐車場事業特別会計予算 (雁宿駐車場と知多半田駅前再開発ビル駐車場を、歳入歳出の均衡を図りながら管理運営するもの)
12	令和6年度半田市モーターボート競走事業特別会計予算 (繰出金他歳出が526万円に対し、事業収入他を含む歳入が同額で収支の均衡を図るもの)
18	令和6年度半田市下水道事業会計予算 (雨水整備事業において、北浜田排水ポンプ場の浸水対策を実施するものなど)
19	半田市情報公開条例の一部改正について (情報公開制度の申請手続きの明確化、審査請求の質の向上を図るなど、文言整理を行うもの)
21	半田市職員定数条例の一部改正について(現行の職員定数579人を587人に改めるもの)
22	半田市手数料条例の一部改正について (住民票の写し等の請求について、「オンライン申請」を導入すること、並びに「脱炭素社会の実現に資するための建 築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部改正等」により、新たな手数料区分を追加等するもの)
23	半田市使用料条例の一部改正について (横川小学校において、「小学校児童放課後等居場所づくり事業」として、小学生の放課後の居場所づくりを進めるこ とに伴い、対象となる生涯学習施設が廃止され、関係する施設の使用料を削除するもの)
24	半田市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部改正について (指定ごみ袋の燃やせるごみについて、10リットルサイズを新たに作成・販売するにあたり、処理手数料の欄に「10 リットルの指定袋一枚につき10円」を加えるもの)
26	半田市子ども医療費の助成に関する条例及び半田市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の 一部改正について (医療費の1割を自己負担としている中学生・高校生等の通院に対して、更なる子育て世代への支援として、全額医 療費助成を行うもの)

29	半田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について (一般職の職員の給与に関する法律が改正されたことに伴い、条例の一部を改正し補償額を修正するもの)
30	半田市営住宅条例の一部改正について (市営住宅に入居する際の連帯保証人規定を廃止するもの)
31	半田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について (地方自治法の一部改正にともなう条文の整備を行うもの)
33	半田市創造・連携・実践センターの指定管理者の指定について (管理者に一般社団法人はんだのたねを指定するもの)
34	市道路線の認定について (市道路線に新たに9路線を認定するもの)

■その他の案件

議案 番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
	特別委員会の報告について(健康寿命延伸調査特別委員会の活動報告 ※内容は14ページ)

■賛否の分かれた案件

議案 番号等	議案名 () 内は議案の補足説明です。	創造みらい半田										公明党		志民 ネット		チレンジ はんだ		無所属		議決 結果			
		沢 田 清	山 本 裕 介	芳 金 秀 展	鈴木 英 華	田 中 高 久	澤 田 幸 彦	鈴木 瑞 輝	榎 功 治	渡 邊 昭 司	岩 田 玲 子	石 川 英 之	山 田 清 一	坂 井 美 穂	麻 生 七 海	中 村 和 也	小 出 義 一	伊 藤 正 興	國 弘 秀 之		有 留 麻 田	新 美 保 博	加 藤 美 幸
2	令和5年度半田市一般会計補正予算第9号 総務：ふるさと納税の全体額が当初見込みより減となったため、ふるさと納税を財源とした各基金への積立てを減額するもの 文教：児童発達支援等事業費は事業所が増加したため等の増額、民間保育園等の給食費軽減給付費など 建設：石塚地区工業団地整備において、全体スケジュールに遅れが生じ、測量調査設計など年度内に実施できないことによるものなど	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
8	令和6年度半田市一般会計予算 総務：犯罪抑止を図るために市内全域に130基の防犯カメラと2千枚の看板を設置、はたらく親を応援する団体育成事業を行うものなど 文教：コミュニティーソーシャルワーカー等の職員の配置、多子世帯の経済的負担軽減のため3歳未満児の保育料無償化、子どもの居場所作り、成岩公民館の建て替えを行うものなど 建設：産業人材確保支援としてオープンファクトリーや市内高校における地元企業PR事業の実施、地域猫活動支援として地域猫不妊去勢手術費を補助するものなど	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決

[illegible]

[illegible]

有留麻由議員

反對討論

新年度予算案の審査から

3月定例会では新年度の予算について適正に審査を行いました。
委員会でどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会



総務委員会の様子

問 今回の予算は過去最大規模であり、事業に対する取捨選択が求められると思いますが、市長としてどのような判断基準を持ち取組んでいくことを考えていますか。

答 事業に対する効果や必要性に焦点をあて、しっかりと精査することで事業の見直しや効率化に向け取組んでいく必要があると考えています。

ふるさと納税事業
問 令和5年度の実績はどうでしたか。また、目標達成に向け返礼品の開拓の取組みはどのように進めていきますか。

答 令和5年度の寄附金は、約7千5百万円の見込みです。

です。事業者登録数を増やすとともに魅力ある返礼品の開拓に取組んでいきます。

防犯活動事業

問 防犯活動事業をどのように推進し実施していきますか。また、効果をどのように図りますか。

答 市内全域に130基の防犯カメラと2千枚の看板を設置し、犯罪抑止を図るとともに、市民の防犯意識の向上を目指し防犯力の高いまちづくりに繋げていきます。この取組みにより、令和4年から増加傾向にある犯罪件数が減少することを目標に効果の検証を行います。

はたらく親を応援する団体育成事業

問 市民活動団体への支援をどのように実施しますか。

答 仕事と子育ての両立を応援する活動を行いたいとする意欲ある市民活動団体に対し、活動に共感を得られるプレゼンテーション能力を育成する研修を実施します。市民活動団体は、事業内容や思いを動画等により市民に公開し、市民は「応援したい」と

感じた市民活動団体に投票します。その投票結果により、多くの市民の共感を得た団体に対して活動資金を助成するものです。

文教厚生委員会



文教厚生委員会の様子

多子世帯の3歳未満児保育料無償化事業・保育園等登園準備負担軽減事業

問 「はたらく親を応援するまち」を掲げていますが、2事業を選んだ経緯はどのようなのですか。

答 子育てと仕事を両立するにあたって、特に0歳から2歳の低年齢児の保護者は子育てに係る時間的・労力的負担が非常に大きい中で、保育料による経済的な負担も大きいことから、まずはそうした

保護者の負担を軽減すべきと判断し、選定しました。

小学校児童放課後等居場所づくり事業

問 小学校敷地内で、放課後児童クラブ、児童センター、放課後子ども教室の3つの機能を集約した施設を作ることですが、施設改修工事に当たり、どれくらいの利用人数を想定していますか。

答 今回の新たな施設は、児童が放課後帰宅せず利用できる施設であり、既存の施設と性質が異なるため、利用人数の想定はできていません。専用教室のほか、図書室などの特別教室も利用することで、多数の児童が利用できる仕組みを作っていきます。

いじめ・不登校対策事業

問 令和6年度からスクールソーシャルワーカーを1名から3名に増員するとのことですが、積算根拠は何ですか。

答 一人当たりの標準的な支援件数を80件と想定し、令和4年度の支援実績が222件であったことから、3名の配置としました。

小学校防犯カメラ整備事業

問 設置場所、活用方法、設置台数はどのようなようですか。

答 昇降口や廊下など外部からの侵入者をとらえやすい場所に設置し、何か問題が発生した際に録画記録を確認し、原因究明の手掛かりとする運用などを考えています。1校あたり4台から5台を想定しています。

建設産業委員会



中心市街地活性化事業

問 令和6年度より大きく動き出す、本事業に対する市長の意気込みと決意を教えてください。

答 中心市街地の活性化は、誰も成し得なかったことだからこそチャレンジした取り組みで、乗り越えなければいけない壁であると考えています。事業の実施に当たり不安がないわけではないです

が、オール半田で取組んでいきたいと考えています。

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画改定事業

問 本来中間見直しの時期は令和7年度ですが、令和6年度に実施する内容は何か。

答 名鉄河和線の立体交差化の検討について、事業の範囲や実施の可能性などを判断するための概算の調査を行い2か年かけて事業を実施するためです。

公共交通対策事業

問 令和7年度の新半田病院の開院を見据え、どのような方針で公共交通を整備するのか教えてください。

答 名鉄知多半田駅と新半田病院を結ぶ路線バスとは別に、病院利用者の自宅から新半田病院へタクシーで移動できるサービスの実施を検討しています。

地域猫活動支援事業

問 地域猫不妊去勢手術費補助金について、瑞穂地区と板山地区において、地域猫を一斉に捕獲し不妊去勢手術

を行うとのことですが、当該地区で実施することとした理由はなぜですか。

答 地域猫の問題が深刻化している地域において、年間50匹の地域猫を捕獲する予定で、事業が実施できる団体や地域住民の理解が必要であるため、実施の目的が立っている2つの地区において実施します。

石塚地区工業団地整備事業及び企業立地・創業支援事業

問 工業団地の目的が立った後は、企業誘致に注力していく必要があると思います。が、どのようなPR活動や市長のトップセールスを実施する予定ですか。また、半田市にとつての意義について教えてください。

答 本事業は長年の課題である工業用地不足の解消に寄与する重要な事業です。企業立地のセミナーにおいて市長講演を行い、進出の可能性のある企業に、直接トップセールスを行います。

新年度予算に係る討論

議案8号・13号・14号・15号・16号・17号・20号・25号・27号・28号・32号に反対／議案19号・議員提出議案5号に賛成

有留麻由議員

議案第8号令和6年度半田市一般会計予算を含む11議案に反対、議案第19号と議員提出議案第5号について賛成です。一般会計予算では、企業立地等の大型開発の中止を検討し、福祉や教育、子育て、暮らしに充当することを求めます。マイナンバーカード事業は12月に紙の保険証が廃止になることに反対です。

議案33号に賛成

山本裕介議員

指定管理者候補となった一般社団法人「はんだのたね」は、運営体制、収支予算について低い評価を受けていますが、まだ種であり水と栄養を与えていかなければ大きく育てられませんか。中心市街地を若者や地域の方々と市全体で「人が集う場」としていくために人とモノとコトをつなぐハブとして指定管理者に期待をし賛成します。

審議結果

令和6年第3回臨時会(3月29日)

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
議案35	半田市市税条例等の一部改正について (地方税法の一部改正に併せ、条文の整備を行うもの)
議案37	道路整備工事(その4)請負変更契約の締結について (埋設管位置の変更、家屋調査の追加、週休二日制工事への変更などによるもの)

審議結果 令和6年第3回臨時会(3月29日)

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告3	専決処分報告について(公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)

■賛否の分かれた案件

議案 番号等	議案名 () 内は議案の補足説明です。	創造みらい半田										公明党		志民 ネット	チリジ はんた	無所属			議決 結果				
		沢 田 清	山 本 裕 介	芳 金 秀 展	鈴木 英 華	田 中 嵩 久	澤 田 幸 彦	鈴木 瑞 輝	榊 原 昭 治	竹 内 功 治	渡 邊 玲 子	岩 田 英 之	山 田 清 一	坂 井 美 穂	麻 生 七 海	中 村 和 也	小 出 義 一	伊 藤 正 興		國 弘 秀 之	有 留 麻 由	新 美 保 博	加 藤 美 幸
議案 36	半田市国民健康保険税条例の一部改正について (国民健康保険税課税限度額の2万円引き上げと減 額の対象となる所得基準の引き上げを行うもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	可決

表の見方:議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員



議案36号に対し、減額の対象となる所得基準の引き上げへの異論はありません。しかし、国民健康保険税課税限度額は令和元年から令和5年までの5年間だけでも11万円も限度額が上がっており、応能負担に立った徴収とはいえず、物価高騰が高止まりになっているなかで、これ以上の負担を強いる改正については賛成できません。

有留麻由議員

議案36号に反対

反対討論

『南海トラフ地震で行政が問われること』

～議員勉強会を開催し、学んだこと～

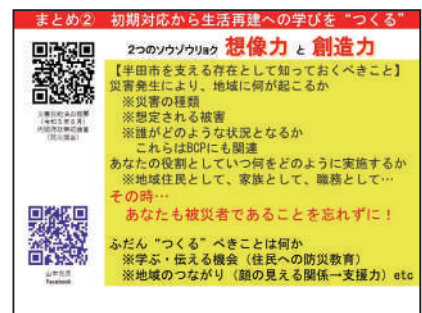


開催日: 3月21日(木)

講師: 山本克彦教授 日本ソーシャルワーク教育学校連盟会長補佐 日本福祉大学

私たち議会も、行政もいざ大災害が起これば、市民の皆さまと同じように被災者になります。まず、その意識を持つことが必要です。私たちにも家族があり、守らなければならない命があります。市民の皆さまへのサービスを提供したくとも災害が起きてからでは役に立たないかもしれません。ただ事前準備はできます。半田市において、様々な想定の中で、初期対応から生活再建まで、フローに沿った情報の整理ができていのか、しっかりとチェックし、足りないものは準備をしていきます。

皆さまも興味関心を持っていただき、「いざ」という時に想像力を膨らませ、共に創造してまいりましょう。



次世代へつなぐ

半田商業高校 交流会 半田市議会

2024
1月24日(水)

生徒の皆さんより「総合ビジネス科デュアルシステムコース」活動報告があり、その後、沢田議長が「市議会議員の仕事」についての講義を行った後、5グループに分かれ「私たちの考える半田市の未来」について生徒と議員で語り合いました。



社会を変える若いチカラ!

市議会とは?

・選挙で選ばれた市民の代表である議員同士が、市民生活に関わる大事なことを話し合っ、決めることです。

大事なことって?

- ・市のお金(税金)の使い道
- ・使ったお金が正しく使われたかどうかの点検
- ・市のルール(条例)を作ったり変えたりすること
- ・建設工事など、大きなお金を払うような契約をするとき



交流会を終えて

#半田の未来 #推し活 #選挙に行く

- ◇普段聞けない議員の仕事や役割について知ることができた
- ◇市民相談をしていることを知らなかった
- ◇18歳になったので、選挙に行ってみよう
- ◇選挙の大切さを改めて感じた
- ◇市議会議員の方と話ができて貴重な体験でした
- ◇まちが良くなるためには、選挙で投票したり、自身が立候補することが大事だと学べた
- ◇半田市の未来のことを考えて、実際に動いているという事も聞けて、とても有意義な時間でした



健康寿命延伸 調査特別委員会 活動報告 (要旨)

調査テーマ

「市民生活の質向上を図るための健康寿命の延伸」

市民一人ひとりが、いつまでも健康で幸せを実感し、いきいきと住み慣れた地域で支え合いながら暮らしていくことができる社会の実現には、「健康寿命の延伸」が必要であると考え、大阪府摂津市及び吹田市の視察と、埼玉県さいたま市の取り組みについて調査しました。

初めに、摂津市と吹田市では、健康に関する産官学民連携の取り組みを推進していました。摂津市の主な取り組みとしては、減塩の食事メニューを紹介する「摂津市クックパッド」、健診の日程や健康情報を一つにまとめた冊子の発行、スマートフォンアプリを利用してウォーキングの歩数に応じた参加賞や景品がもらえる「健康

マイレージ事業」などがありました。また、吹田市では、たばこの煙のないまち「スモークフリーシティ・すいた」というプロジェクトに組んでおり、喫煙者の禁煙支援や喫煙者を増やさない取り組みを行っていました。中でも路上喫煙禁止地域でも喫煙可能な施設「卒煙支援ブース」を設置するなどの取り組みが特徴的でした。

次に、さいたま市の主な取り組みでは、健康づくりに関心のある企業・団体のネットワークを作っており、健康に関する様々なイベントを開催していました。また、健康経営に取組む企業を後押しするため、市独自に「健康経営認定制度」を設け、市ホームページで認定企業を紹介するほか、競争入札参加資格審査において加点されるメリット等がありました。

以上の調査を踏まえ、当委員会では以下のとおり提言しました。

「半田市の健康づくりに関するブランディング戦略を実施してください。」

「産官学民が連携して、健康づくりに関する情報交換や交流を行うためのプラットフォームを構築してください。」

「健康経営推進制度を設けるなど、産官学民が連携した健康づくりを推進してください。」

「市民が暮らしの中で自然に健康になることができるよう、卒煙支援ブースの整備や公園等に健康器具を設置するなど、健康づくりを意識した施設やインフラの整備を行ってください。」

「健康づくり年間日程表の作成や、歩くことを基本とする健康づくりを推進するなど、働く世代のうちから健康づくりの意識を醸成し、健康づくりに

健康づくりに無関心な人に対して働きかける事業を実施してください。」



今後の本会議の開催予定

5月臨時会の日程 5月14日(火)・5月15日(水)

6月定例会の日程 6月18日(火)から6月28日(金)



議会本会議
の予定へ

※会期中の日程は約一週間前の議会運営委員会で決定します。

あとがき

春らしい気候となりました。市役所では今月から10月末までのクールビズ期間が始まりました。

能登半島地震から4か月。まだまだ不自由な生活を送られている方も多くおられますが、能登にも必ず春は来ます。一日も早く平常の生活が戻ることを心から願っています。

今の委員会メンバーでの編集作業は今号が最後となりました。表紙デザインや高校生との意見交換での特集ページなど工夫を凝らした二年でもありました。今後も引き続きのご愛読、よろしくお願いいたします。

(鈴木)

広報委員会

委員長 山田 清一
副委員長 小出 義一
委員 有留 麻由／芳金 秀展
鈴木 幸彦／渡邊 昭司

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail: gjj@city.handa.lg.jp



半田市議会へ
QRコードは簡登
ソーウェブの登
録商標です。